

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【1. 施策名】

施策コード	121-01	基本施策	高齢者福祉サービスの充実	所管部局	保健福祉部
施策名	地域包括支援体制の整備			主担当課	介護保険課
施策の目標	保健・医療・福祉の連携を強化し、高齢者を地域で支える仕組みづくりや総合相談支援体制の充実などにより、包括的・継続的に支援する環境を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

<p>施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など</p> <p>ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加などにより、家庭の介護力が低下しており、介護が老後の大きな不安要素となっている中、保健・医療・福祉が連携し社会全体で高齢者を支えあう環境の整備が求められている。地域に住む高齢者に関する様々な相談を受け止め、適切な支援機関・制度・サービスにつなぎ、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるよう、継続的に支援する地域包括支援センターの整備を推進する。</p> <p>また、介護サービスに限らず、地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどの様々な社会的資源が有機的に連携することが出来るよう地域包括支援ネットワークの構築を図る。</p>

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績					目標値（H26）
			H24	H25	H26	H27	H28	
地域包括支援センターの設置数	ヶ所	12	13	16				17
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
地域で地域包括ケアを推進する地域包括支援センターの設置数	第5期長野市介護保険事業計画（H24～H26）の設置目標数である17ヶ所の設置を目指す。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績					目標値（H28）
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
25年度の取組内容実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年10月に地域包括支援センター4ヶ所を設置（これに伴い直営包括1ヶ所廃止）し、平成26年度に新たに1ヶ所設置する委託法人を選定した。 認知症初期集中支援チームを設置（国庫補助モデル事業）し、認知症に関する啓発活動や医療・介護・地域支援サービスの連携体制の構築を図り、個別相談案件へも連携する中で支援をした。 地域包括支援ネットワークの構築を図るため、ケアマネジャー等研修会は、民生児童委員や介護サービス事業者と合同で行なう回数を増やし、連携体制の強化を図った。 							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	順調
評価の理由・説明等	
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	増加する高齢者の多様なニーズに対応し適切に支援するため、総合相談窓口となる地域包括支援センターの充実が求められており、目標設置数に向けて順調に準備を進めるとともに、各種研修や会議への出席、及び実支援内容の共有などにより情報を収集し、各ニーズに対し適切な対応に努めている。 また、地域包括ケア体制充実のため、医療機関や地域の関係機関との連携体制の強化が進んでいる。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	地域包括支援センターの設置数は、第4期長野市介護保険事業計画の設置目標とした13ヶ所を達成し、第5期長野市介護保険事業計画（H24～H26）の設置目標である17ヶ所の設置に向けて準備が進んでいる。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	「総合相談支援事業」は25年度目標値を達成していないが、最終目標値へは順調に準備が進んでいる。また、「ケアマネジメントリーダー活動等支援事業」は目標を達成し、順調に事業を展開している。

